

東京国立博物館 ニュース

2014 **6-7**
 展示と催し物案内
第725号

- 2 ● 特集 平成25年度新収品 / 3 ● 親と子のギャラリー 仏像のみかた 鎌倉時代編
 4-5 ● 特別展「台北 国立故宮博物院－神品至宝－」
 6 ● 2014年日中国立博物館合同企画特別展「東アジアの華 陶磁名品展」、「日本国宝展」
 7-11 ● 総合文化展 / 11 ● 保存と修理情報② / 12-13 ● みどりのライオン 教育普及事業
 14 ● INFORMATION / 15 ● TOPICS / 16 ● 6月・7月の展示・催し物



人気の屏風に新収品、
トーハク自慢の名品による競演



特集 平成25年度新収品

新収品のうち、ご寄贈と購入による34件を一堂に初公開！

文化財の収集は博物館のもっとも重要な事業のひとつに数えられます。昨年度当館の収蔵品に加わった文化財は、絵画・書跡・彫刻・染織・金工・甲冑・歴史資料と実に多岐に渡ります。今回はそのなかから5件の作品をご紹介します。

本館特別2室

5月20日(火)

6月1日(日)



花 黒田清輝筆 大正9年(1920)

1920年8月22日～25日の日記に、黒田はグラフィオラスを描いたと記しています。花を好んだ黒田はユリや菊などをよく描きました。これほど暗い背景は珍しいですが、花の色がよく映えます。

POINT 花を際立たせる暗色の背景や、画面左側に対象を片寄せる構図にご注目！



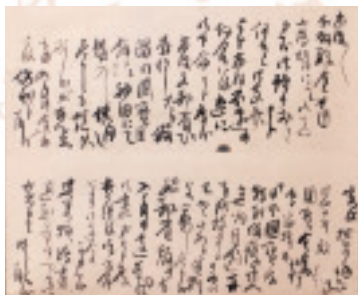
如意輪観音菩薩坐像 鎌倉時代・13世紀

6本の腕を持つ密教の仏です。水晶をはめたきりっとした目、花の形に結った髪、卵形の頭部は鎌倉時代の仏像の特徴です。頭部内に小仏像2体が納入されていることがX線撮影でわかりました。



ココに仏像が2体！

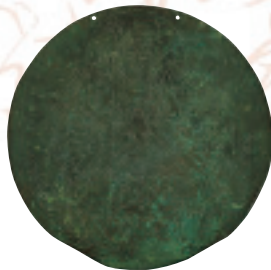
POINT 紫檀に似せた黒色をつけ、衣には金箔を細く切った織金で模様を表しています



書状 なほなほ不取敢云々

会津八一筆 昭和時代・20世紀 堀江恭子氏寄贈
会津八一(1881～1956)は新潟県に生まれ、歌人として名をあげるとともに、早稲田大学で東洋美術史を講じました。特に奈良時代の美術史研究で知られます。書家としても、その高雅な書が評価されています。

POINT 会津に師事した堀江知彦に宛てた書状。第二次大戦後、郷里の新潟から送ったものです



○線刻千手観音鏡像 平安時代・12世紀

円形の銅板の表面いっばいに千手観音坐像を線刻で表した鏡像。伸びやかで柔らかい描線の観音像は、平安時代後期の特色をよく示しています。直径も24.2cmと比較的大型で、類例の少ない貴重な作品です。

POINT 平安仏画の白描(白地に墨線のみで描いた図像)を思わせる柔和な表現をご覧ください



萌黄綵威胴丸具足

江戸時代・19世紀 植原千明氏寄贈
幕末の高崎藩主、大河内輝聰所用として伝来した具足。白と萌黄糸を交互に配した萌黄綵威で、胸などに大河内家の三扇丸紋を打って由緒を示しています。

POINT 兜に扇の前立をつけ、白と萌黄糸で威した華やかな甲冑です

新しく収蔵品の仲間入りをした作品を見てみましょう！

ご寄贈いただいた皆さま、どうもありがとうー！



トーハクくん ユリノキちゃん

東京国立博物館キャラクター

源頼朝が開いた幕府が鎌倉に置かれていた約140年間を鎌倉時代(1192～1333)といえます。武士や貴族によって、リアルでいきいきした作品が生み出された時代です。仏像では、水晶を使って人間の目のような潤いを表現した玉眼などの技法が流行しました。この時代の仏像の特徴を、じっくり見てみましょう。

親と子の
ギャラリー

鎌倉時代編 仏像のみかた

本館11室
本館14室

6月10日(火)
8月31日(日)

3つのポイントを押さえて「なんだろう?」「なるほど!」に

毎夏恒例の特集「親と子のギャラリー」。今年は、鎌倉時代のさまざまな仏像を展示します。気づいた疑問や発見をもとに、教科書や本でさらに調べれば、夏休みの自由研究にもなる企画展示です。ここでは、展示をご覧になる際に注目していただきたい、3つのポイントをご紹介します。

POINT 1

いきいきした
表現に
注目!!



◎大日如来坐像

[本館11室]

平安～鎌倉時代・12世紀 東京・真如苑蔵



近づくと目が
キラキラだほ。
生きている
みたいだほ!

実は天から
降りてきている
姿なんですって

POINT 2

仏像は
何を
しているの?



◎菩薩立像

[本館11室]

鎌倉時代・13世紀

仏像を見て、一体何をしている姿なのか、不思議に思ったことはありませんか? 絵画とは違い、彫刻である仏像には背景がないため想像するのが難しいのですが、今回は仏像が何をしているのか、ひと目でわかる演出をほどこし、仏像にまつわるさまざまな物語をご紹介します。どんな場面か想像してみましょう。

POINT 3

仏像を
比べて
みよう!



どっちが
武士好みで、
どっちが貴族好み?
答えは展示室に
あるほ!

時代や注文主の好みによって、仏像の姿も変わります。仏像の顔や着ているものを比べることでその特徴がよくわかります。たとえば、貴族と武士では仏像の好みが変わったといわれています。どんなところが違うか、あなたはどちらが好きか、いろいろ比べてみましょう。

◎十二神将立像 戌神(右)

[本館14室]

鎌倉時代・13世紀

◎十二神将立像 子神(左)

[本館14室]

鎌倉時代・12～13世紀

神奈川・曹源寺蔵



関連事業

「トーハク探検ツアー 仏像のみかた」

仏像って難しい? それは仏像に詰まったたくさんの謎のせいかもしれません。その謎を解決できたらきっと楽しくなるはずです。仏像を見学しながらその謎に迫るツアーに、ぜひご参加ください。

日時:7月27日(日) 10:00～11:00 14:00～15:00

対象:小学生とご家族

定員:各回10組

参加費:無料(ただし、一般の方は当日の入館料が必要です)

申込方法:当館ウェブサイトの申込フォームでお申込みください。

締切:7月3日(木)必着

お問合せ:03-3822-1111(代) 教育普及室「仏像のみかた」係

台北國立故宮博物院

神品
至宝

ついに始まる台北故宮展！ 台北 國立故宮博物院からやってくる選り抜かれた名品中の名品から、「これだけは見逃せない」というイチオシ作品を担当の研究者がご紹介します！

平成館
特別展示室
・
本館
特別5室

(「翠玉白菜」展示期間のみ)

6月24日(火)
)
9月15日(月・祝)

川村
研究員の
イチオシ

並んでも見たい“白菜”、 台北故宮のスーパースター



翠玉白菜

清時代
18～19世紀
[展示期間:
6月24日(火)～
7月7日(月)
2週間限定]
台北 國立故宮博
物院蔵

翠玉という硬い石材でありながら、白菜の葉のしなやかさや、葉の上にとまった虫たちのいきいきとした姿まで余すことなく彫り表されています。中国では18～19世紀に、石材が本来もっている色の違いをいかした彫刻の作品が盛んに作られました。なかでも翠玉白菜は代表的な作例で、素材の緑の部分を葉先と虫に、白の部分を

葉の芯にあてた巧みな技が光ります。選りすぐられた天然の美と洗練された技が織りなす、これぞ究極の「神品」です。

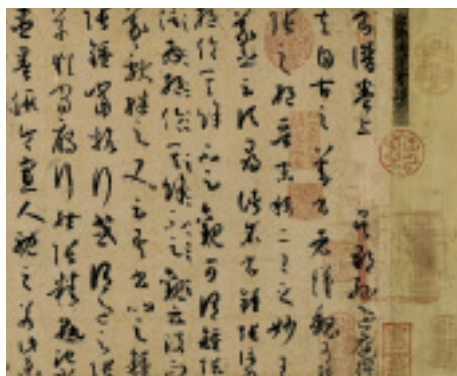
研究者から
白菜は「純潔」を、
バツタ類は「多産」
を意味します。清の第11代皇帝・光緒帝の妃であった瑾妃の宮殿に置かれていました。

富田
研究員の
イチオシ

王羲之の流れを汲む草書の名作

唐時代の687年に、孫過庭が自らの書に対する考えを、**駢儷文**という美文で展開した文章です。内容が古典的な名著と高く評価されるばかりか、書そのものも王羲之の書法を忠実に継承する草書の名品として知られています。孫過庭は身分の低い家柄の出身で、下級官僚となりましたが、讒言に遭って退けられ、貧困の中に他界しました。しかし、不朽の名作、この書譜を書き上げ、その名を歴史に残したのです。

研究者から
王羲之の書の美しさを整理して法則化したこの作品は、宋の徽宗や清の乾隆帝が愛蔵し、数々の収蔵印を残しています。



草書書譜卷(部分)

孫過庭筆
唐時代 垂拱3年(687)
[展示期間:6月24日(火)～8月3日(日)]
台北 國立故宮博物院蔵

日本よ、 これが本物の 中国山水画だ!

塚本
研究員の
イチオシ

自然の大きさを描く山水画を、北宋時代に活躍した李成と郭熙という2人の画家の名をとって「李郭派」と呼びます。この李郭派の山水こそは中国山水画の大黒柱なのですが、1000年もの長い交流の時間を経ても、日本にはほとんど伝来しませんでした。その李郭派山水画のうち、元時代の名品が

この作品です。見上げるような高い山と動き出すような白雲。まさに、崇高なる山水と呼ぶにふさわしい、中国山水画を代表する名品です。

研究者から
日本が好んできた小さな画面に诗情あふれる南宋画とは、まったく違った世界が広がっています。



雲横秀嶺図軸

高克恭筆 元時代・13～14世紀
[展示期間:6月24日(火)～8月3日(日)]
台北 國立故宮博物院蔵

皇帝が愛した青磁、「汝窯」の魅力

三笠
研究員の
イチオシ



青磁輪花碗

汝窯 北宋時代・11～12世紀 台北 國立故宮博物院蔵

北宋時代、宮廷に納められた焼造されたと伝わる汝窯青磁。南宋時代初めにはすでに「近ごろもつとも得難し」といわれていました。いま、世界に70点あまりしかなく、そのうちの21点が台北 國立故宮博物院に収められています。関連窯址は河南省宝丰县清凉寺に見つかり、2000年代に本格的な調査が行われました。おっとりとした形と縹色の釉に気品漂う優雅な作品です。

研究者から
よく見ると、輪花の花弁の大きさが、かたがバラバラ。そのゆつたり堂々たる姿に、汝窯の本質をみるような思いがします。

これが刺繍!?
羊に乗った童子が招く春の訪れ

寒い冬でもみずみずしく美しい松竹梅を背景に3太子(牧童)と9匹の羊を描き、中国の正月である春節を祝う言葉「九陽(きゅうよう)九羊(きゅうやう)が泰を啓する(多くの太陽が世の中をあまねく照らして吉祥となり、なにもかもが思い通りにいく)」を表しています。すべてを刺繍で表現することによって、絹糸による鮮やかな色彩が



刺繍九羊啓泰図(部分)
元時代・13～14世紀
台北 国立故宮博物院蔵

春の気分を盛り上げます。中国独特の刺繍技法である戳紗繡(つしゅう)のほか、さまざまな刺繍技法を駆使して絵画の細密な表現を可能にした名品です。

研究者から
この古典的名品に感動し、尤乾隆帝は、自身の時代に頂点に達した緯糸(綴織)と刺繍の技術を用いてまったく同じ図様のものを作らせています。

関連イベント

ギャラリートーク **当日参加**

「故宮の白菜」

日時:6月25日(水)11:00～11:30 14:00～14:30 18:30～19:00

場所:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師:川村佳男(平常展調整室主任研究員)

記念講演会 **事前申込制**

①6月28日(土)13:30～15:00

「故宮コレクションと「故宮」—青銅器・玉器のかたちに象徴された伝統—」

川村佳男(平常展調整室主任研究員)

②7月26日(土)13:30～15:00

「文物がつくる社会—中国書画・故宮コレクションからアジア世界へ—」

塚本磨充(東洋室研究員)

シンポジウム **事前申込制**

③7月5日(土)1部10:00～15:40

7月6日(日)2部10:30～15:40

「中国皇帝コレクションの意味—書画における復古と革新—」

*2日連続/*詳細は当館ウェブサイトでお知らせします。

会場:東京国立博物館 平成館大講堂

定員:各講演380名(事前申込制、応募者多数の場合抽選)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料が必要)

*シンポジウムは5日受付時に6日も入館できる受講券を発行します。

*1枚のはがきで、1つの講演会につき最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会の日時(①～③)、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込みください。

申込先:〒116-0013 日本郵便荒川支店私書箱22号 特別展「故宮博物院展」講演会(希望する番号①～③のいずれか)係

申込締切:①・③6月2日(月) ②6月9日(月) 必着

特別展「台北 国立故宮博物院—神品至宝—」

特別後援:日華議員懇談会

主催:東京国立博物館、国立故宮博物院、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社、

産経新聞社、フジテレビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、東京新聞

特別協力:TBS、テレビ朝日、日本テレビ放送網、共同通信社

協力:チャイナ エアライン(中華航空)

観覧料金:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生700円(600円/500円)

* ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料。

*障がい者とその介護者1名は無料。

*前売券は4月1日(火)から6月23日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式ホームページほか、主要プレイガイドにて販売。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

特別展と一緒に見たい!

トーハクの名品・特集

台北故宮展にあわせて、東洋館を中心にトーハクの名品を公開。

東洋館で見る!

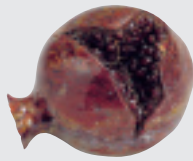
故宮に白菜あれば、トーハクに石榴あり?

めいざくろ
瑪瑙石榴

中国 清時代・19世紀 神谷伝兵衛氏寄贈

東洋館9室 5月27日(火)～12月7日(日)

赤い種子まで本物そっくりの石榴。「翠玉白菜」と同じ玉器工芸によって作られています。



「日本にやってきた中国画家たち

—来船清人とその交流—

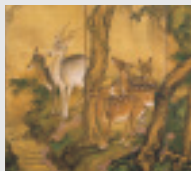
東洋館8室 6月17日(火)～7月27日(日)

清朝と日本の交流、福建・浙江の地方文化に会いに行こう!

ろくかくすひょうぶ
鹿鶴図屏風(部分)

中国 清時代・乾隆4年(1739)

清から日本にやってきた画家・沈銓の画風は、日本に大きな影響を与えました。



おりぬい
「織繡 珍品選」

東洋館5室 6月10日(火)～9月7日(日)

中国染織の伝統である書画を染織で表現した珍品の数々を紹介! *詳細は本誌10ページ。

じゅうろうずにしき
寿老図錦(部分)

中国 清時代・18～19世紀

画像ではわからないスケール…長さ2メートルあまりの大型織物「絵画」。



特集「日本人が愛した官窯青磁」

東洋館5室 5月27日(火)～10月13日(月・祝)

協力:常盤山文庫、アルカンシエール美術財団ほか
古来中国の青磁に親しんできた日本人の視点から、官窯研究の歴史をたどります。

せいじりんかはち
◎青磁輪花鉢

官窯 中国 南宋時代・12～13世紀 横河民輔氏寄贈
南宋官窯の名品として、昭和初期より世に知られてきた代表的な作品です。



特集「趙之謙の書画と北魏の書」

東洋館8室 7月29日(火)～9月28日(日)

書画篆刻の各分野に異彩を放った趙之謙の没後130年の記念展! ご期待ください。

四時花卉図四屏(部分)

趙之謙筆 中国 清時代・同治9年(1870)

四季折々の花卉を描いた4幅の大作のひとつ。趙之謙が絵に最も力を注いでいた42歳の作です。



本館国宝室で見る!

およそ90年ぶりの再会?

乾隆帝と菊池惺堂ゆかりの名品

しやうしやうがゆうずかん
◎瀟湘臥遊図巻(部分)

李氏筆 中国 南宋時代・12世紀 本館2室(国宝室)

8月5日(火)～9月15日(月・祝)



台北故宮展後期の目玉
「行書黃州寒食詩巻」と同じく、書画コレクターとして知られる菊池惺堂が持っていました。

2014年日中韓国立博物館合同企画特別展

東アジアの華 陶磁名品展

日中韓、自慢の陶磁器が一堂に
これを見ずして、「やきもの」は語れない!

本展覧会は、日本、中国、韓国の3つの国の国立博物館による初の国際共同企画展です。中国国家博物館(北京)、韓国国立中央博物館(ソウル)、東京国立博物館からそれぞれの所蔵品、これに当館の寄託品と文化庁の所蔵品を加えて、東アジアを代表する工芸である陶磁の名品を一堂に展示します。日本の茶の湯の焼物、中国の唐三彩、韓国の高麗青磁といったそれぞれの国の特色ある陶磁器を中心に、東アジア三国の陶磁の名品品の競演をお楽しみください。

◎色絵花鳥図大深鉢
伊万里(柿右衛門様式)
江戸時代・17世紀
東京国立博物館蔵
柔和な白色に描き出される色絵の世界は、ヨーロッパでも高い評価を受けました

今回は、そのなかから日本陶磁の優品をご紹介します。次号以降、日中韓三国の特色ある陶磁をご紹介します。 (横山梓)



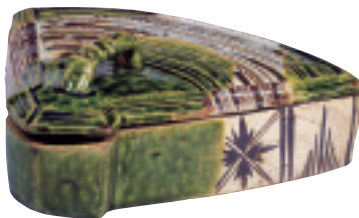
◎嵐志野草花図鉢
美濃 安土桃山~江戸時代
16~17世紀
文化庁蔵
灰色と白のコントラストで草花を力強く描き表した鉢です



本館
特別5室

9月20日(土)

11月24日(月・休)



織部扇形蓋物
美濃 江戸時代・17世紀
東京国立博物館蔵
創意性あふれる織部焼の代表作

2014年日中韓国立博物館 合同企画特別展 東アジアの華 陶磁名品展

主催:東京国立博物館、中国国家博物館、
韓国国立中央博物館
観覧料金:総合文化展料金でご覧いただけます。
*障がい者とその介護者1名は無料。
お問合せ:
ハローダイヤル 03-5777-8600

日本国宝展

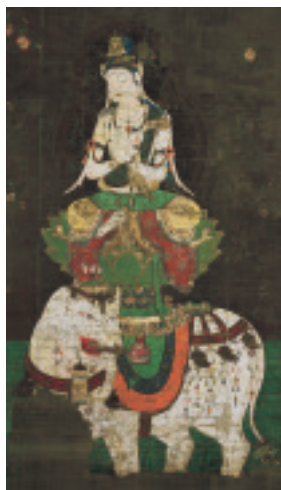
展示作品はすべて国宝!
縄文時代から江戸時代まで、北海道から沖縄まで、
時空を超えて「国のたから」が集結



平成館
特別展示室

10月15日(水)

12月7日(日)



国宝のなかには、仏や神の信仰を背景とした芸術的造形や歴史的資料が数多くあります。祈り、信じる力が、正しき、善き、美しき「かたち」を造り出すことに注がれ、それが優れた造形性、重要な歴史性を有する作品へと結実したものです。本展覧会では、「祈り、信じる力」がどのようなかたちを結び、いまに伝わるのか、約120件の国宝を通してご紹介します。 (伊藤信二)

◎普賢菩薩像(部分)
平安時代・12世紀
東京国立博物館蔵
象に乗り合掌する、たおやかな普賢菩薩の姿を、優美な筆致で描いています

◎勢至菩薩坐像
(往生極楽院阿彌陀堂
所在)
平安時代・久安4年(1148)
京都・三千院蔵
木彫の勢至菩薩像。体に前に傾け、極楽浄土より飛来したさまを示しています



◎袈裟褌文銅鐺
伝香川県出土 弥生時代(中期)・
前2~前1世紀 東京国立博物館蔵
動植物や狩猟・農耕の様子が表されることから、最も有名な銅鐺のひとつです

日本国宝展

主催:東京国立博物館、読売新聞社、
NHK、NHKプロモーション
協賛:損保ジャパン・日本興亜損保、
大仲社、みずほ銀行
観覧料金:一般1,600円(1,400円/1,300円)、
大学生1,200円(1,000円/900円)、
高校生900円(700円/600円)
*()内は前売/20名以上の団体料金。
中学生以下無料。
*障がい者とその介護者1名は無料。
*前売券は7月9日(水)から10月14日(火)まで、
東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、
展覧会公式ホームページほか、
主要プレイガイドにて販売。
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600
展覧会ホームページ:
<http://kokuhou2014.jp>

本館 日本に出会う

本館 2 室 国宝室

一日の終わり、
穏やかな家族のひととき

国宝 納涼図屏風

7月8日(火)～8月3日(日)

瓢箪ひょうたんのなる軒端のきばの下で、筵むしろを敷いて夕涼みをする家族。みな無言で月を眺めています。質素な小屋の近くには小川が流れているのでしようか、一筋の涼風も感じさせます。晩夏から初秋へと向かう季節、周囲は既に暗くなっていて、間もなく夜のとぼりが落ちてくるような憂愁漂う静かな光景です。一日の仕事を終えた家族が、日々の暮らしの辛さや慌しさも忘れ、何物にも代え難い時を過ごしています。私たちが日常のなかに感じる幸せのひとつは、400年前も今も変わりません。
(松嶋雅人)



●納涼図屏風(部分) 久隅守景筆 江戸時代・17世紀
400年前の家族の情景を淡く優しく描いています

本館 10 室 浮世絵と衣装

思わず「ぎょっ」とするリアリティ

魚づくし・鮎

6月17日(火)～7月13日(日)



魚づくし・鮎 歌川広重筆 江戸時代・19世紀
どこかユーモラスな作品。同時期に「鯉」や「木の実、黒鯛、小鯛」なども展示します

風景画で知られる歌川広重うたがわひろしげですが、魚介図の揃物も数シリーズ描いています。大判錦絵の魚介図としては、永寿堂版の10枚揃いと、それに続いて版元・山田庄次郎から出版された10枚揃いの「魚づくし」がよく知られており、本図は後者に含まれます。「魚づくし」の魚は、市場で見かける食材として描かれていますが、本図と「鯉」の図だけは水中を泳ぐ姿で描かれています。多摩川の鮎として春園静枝が「秋の雨ふりても水のかけきよくさひはみえさる玉川の鮎」の狂歌を添えています。
(田沢裕賀)

本館 16 室 アイヌと琉球

「折り」のための特別な装飾品

シトキ(首飾り)

7月6日(日)

アイヌの女性が祭や葬送の際に身につける首飾りは、タマサイやシトキと呼ばれる首飾りです。大小のガラスや金属製の玉だけを連ねたものがタマサイ、玉と飾り板を連ねたものがシトキです。飾り板には、彫刻された木製の板や漆器に加え、罌びんや鏡が用いられることもありました。

本例はガラス玉と、飾り板として花唐草文が象嵌された罌を連ねています。これらの材料は、サハリンを中継地とした山丹交易や和人の交易で得られたもので、アイヌの人びとの幅広い交易活動を示す例でもあります。
(品川欣也)



(部分)

シトキ(首飾り)
北海道アイヌ 19世紀
母から娘に伝えられたアイヌの宝

本館 18 室 近代の美術

気迫あふれる近代彫刻の傑作

重文 老猿

7月13日(日)

●老猿
高村光雲作 明治26年(1893)
シカゴ・コロンプス世界博覧会事務局
気迫に満ちた猿の姿をいきいきと描写した。その写実性に注目してください



高村光雲たかむらみつぐんは、もともと栃の木の、白く銀光がチラチラする木目をいかして年取った白猿を作るつもりでした。しかし、自ら山に入って得た材を彫り始めてみると、材が赤黒かったので野生の老猿に変更したのがこの作品です。老猿は驚と戦った直後で、左手に羽根を握り、上方をにらむ鋭い視線の先には逃げていく驚の姿があるのです。
光雲の動物彫刻には、江戸時代には見られない写実性があります。この彫刻も猿を借りてモデルとしましたが、岩に坐る姿勢は、猿ではなく人の骨格をもとにしています。
(丸山士郎)



6/17 火 - 8/31 日

かしどりいとかたあかむらじのどうまる
◎**檜鳥糸肩赤威 胴丸**
室町時代・15世紀
秋田一季氏寄贈
胴に兜・袖を完備した中世を代表する胴丸で、種々の技巧の粋を尽くしています

4 茶の美術

るりじまめつはすずみずまし
◎**瑠璃地染付蓮函水指**
伊万里 江戸時代・17世紀
染付で伸びやかに描かれた蓮が涼を誘います



8/3 日

こまめつけあめ めんもんとうくり
◎**古染付網目魚文徳利**
中国 景德鎮窯
明時代・17世紀
広田松繁氏寄贈
太鼓形の珍しい形に、明末期に流行した網目文様が施されています



3 - 3

◎**李白観瀑図** (部分)
惟肖得巖賛 室町時代・15世紀 個人蔵
室町時代以降、数多く描かれた李白観瀑図として現存最古の作例です

6/17 火 - 7/21 月・祝



6/15 日

いっせいのしんぼう
◎**一休和尚像** (部分)
没倫紹等賛
室町時代・15世紀
岡崎正也氏寄贈
ぼさぼさの髪、伸び放題の髭。一休の姿が活写されています



3 - 2

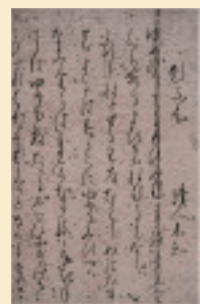
◎**天狗草紙** (延暦寺巻) (部分)
鎌倉時代・13世紀
驕慢心を持つ僧侶がなるとされる天狗。その様子を寺院の景観とともに描きます

7/23 水 - 8/31 日



6/17 火 - 7/21 月・祝

こきんわ かしうまきだいじゅういちだんかん すじぎれ
◎**古今和歌集巻第十一断簡** (筋切)
伝藤原佐理筆 平安時代・12世紀
羅紋紙に銀泥の筋が入っているため「筋切」とよばれています



5/27 火 - 7/6 日

◎**法華経** (久能寺経) 信解品 (部分)
平安時代・12世紀 静岡・鉄舟寺蔵
金銀の切箔や砂子などを散らした料紙が美しい、装飾経の名品です



7/8 火 - 8/3 日

のうりょうずりょう
◎**納涼図屏風**
久隅守景筆 江戸時代・17世紀
久隅守景は狩野探幽門下の一人。本作にはその卓抜した技が表れています



3 - 1

◎**仏教の美術**
— 平安～室町

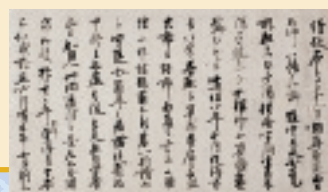


6/17 火 - 7/21 月・祝

あみたによらいぞう
◎**阿彌陀如来像**
鎌倉時代・14世紀 福島・いわき市蔵
2mを超える大画面ながら、圧迫感を感じさせない柔和な造形が見事です

6/15 日

◎**願文** (部分)
慈円筆 鎌倉時代・貞応3年(1224)
天台座主・慈円が、乱れた臨終を迎えるためにと日吉山王権現に奉った自筆の願文



2

◎**国宝室**



1 - 1

◎**日本美術のあけぼの**
— 縄文・弥生・古墳

6/17 火
12/7 日



まきいがたごせいだん
◎**巻貝形土製品**
縄文時代(後期)・前2000～前1000年
新潟県村上市上山出土
縄文人の自然に対する畏敬の念が形となった土製品

すゑき せいかつちやうけいご
◎**須恵器 脚付長頸壺**
古墳(飛鳥)時代・7世紀
三重県鳥羽市答志町
蟹穴古墳出土
川原松蔵氏寄贈
鮮やかな深緑色の自然釉と調和する、大型でありながらも端麗な壺

1 - 2

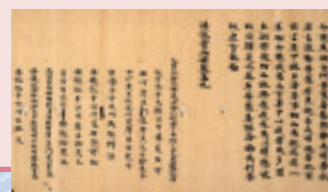
◎**仏教の興隆**
— 飛鳥・奈良

6/17 火 - 7/21 月・祝



せりやうきよう いしびつ
◎**舍利容器(石櫃)**
奈良時代・8世紀
大阪府茨木市太田三島廃寺出土 平野捨治郎氏・太田治三郎氏寄贈
石櫃、金銀製容器、銅製合子と三重の入れ子式で納めています

たつせつぼうし
◎**仏説宝雨経**
(天平十二年五月一日光明皇后願經)
(部分) 奈良時代・天平12年(740)
光明皇后が両親の冥福などを祈り書写させたもの。蓮華世界が人々を幸せにするという内容の經典です



術の流れ

戸まで、どる日本美術史



入口

本館 1-1 室
日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

本館 1-2 室
仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

本館 2 室
国宝室

特別1室

本館 3-1 室
仏教の美術
— 平安～室町

本館 3-2 室
宮廷の美術
— 平安～室町

本館 3-3 室
禪と水墨画
— 鎌倉～室町

本館 4 室
茶の美術

本館 5 室
武士の装い
— 平安～江戸

7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸



7/1 火 — 8/3 日

柳橋水車図屏風

筆者不詳 安土桃山～江戸時代
16世紀末～17世紀初
黄金に包まれる、古来、景勝の地として知られる宇治の情景

6/29 日

大原御幸図屏風

(部分)
長谷川久蔵筆
安土桃山時代・16世紀
建礼門院が京都・大原に庵を結んで平家一門の菩提を弔う儂げな景観



5

6

武士の装い — 平安～江戸

仁王胴具足

安土桃山時代・16世紀
朱塗の胴の意匠が、金剛力士像の体軀を連想させることからこの名があります



8 - 1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸



6/15 日

色絵石楠花図皿

江戸時代・17～18世紀
個人蔵
石楠花に岩ツツジを添えて、七寸の小さな画面にまとめあげています

6/17 火 — 8/24 日

蛇籠子鳥蒔絵硯箱

江戸時代・18世紀
広田松繁氏寄贈
流水と蛇籠をクローズアップした図案は、当時人気の光琳風



6/17 火 — 8/31 日

柳樹鶯柄鏡

江戸時代・18世紀
徳川頼貞氏寄贈
風そよぐ柳の下、水辺に憩う鶯が涼しげです



8 - 2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

6/29 日

六々武將賛(部分)

藤田心海筆 江戸時代・17世紀
古代以来の中国の武將を讃えた詩を多彩な書体で記しています



四季花鳥画帖

増山雪園筆
江戸時代天保11年(1840)
伊勢長島6代藩主による漢詩と花鳥図、大名の美意識がうかがえます



9 能と歌舞伎

6/15 日



「還城楽」胡飲酒を中心に江戸時代の舞楽装束を展示します。

舞楽装束 還城楽 禰禰 江戸時代・19世紀
左方(唐楽)の「走舞」である「還城楽」では赤系統の禰禰をまといます

6/17 火 — 8/3 日

能「加茂」をテーマに江戸時代の能面・能装束などを展示します。

唐織 紅地籠目牡丹桜尾長鳥模様

江戸時代・18世紀
若い女性役に着用される唐織は能装束の華といえます



【衣装】 6/15 日

桐・富蒲・百合・牡丹など春から初夏に咲く花の模様を中心に展示します。

打掛 鼠地唐織花文網目繫八橋蝴蝶模様

江戸時代・19世紀
王朝趣味を感じさせる雅やかな唐織の打掛です



6/17 火 — 8/3 日

夏季に着用する帷子や単衣、ガラス製の櫛・簪などを展示します。

帷子 浅葱麻地山水楼閣源氏香文字散模様

江戸時代・18世紀
絹のように細い麻糸で織られた涼しげな上布の帷子です



10

浮世絵と衣装 — 江戸

6/15 日

魚つくし・鱈、車鯨

歌川広重筆
江戸時代・19世紀
どこ産の魚かだつて?
こいつは活きのいい江戸の錦絵だよ!



6/17 火 — 7/13 日

七夕の短冊を書く美人

鈴木春信筆
江戸時代・18世紀
七夕飾りを背景とした円窓内に願いごとを書く娘を描いています



7/15 火 — 8/3 日

○百合 葛飾北斎筆

江戸時代・19世紀
大きく描かれた百合の花。葛飾北斎が描いた静物画の代表作です



総合文化展 見どころ案内
本館2階
[6月07月]
日本美
縄文から江
ほんものでた
必見

東洋館

アジアを旅する

東洋館
5年度

「中国の陶磁」

東洋陶磁の世界的蒐集家

横河民輔コレクション

横河民輔(1864~1945)は、明治から昭和初期にかけて活躍した日本を代表する建築家であり、東洋陶磁の世界的な蒐集家としても知られています。昭和7年(1932)より博物館に寄贈された1100点にのぼるコレクションには、第一級の名品から研究的価値の高いものまで、さまざまの陶磁器をみることができます。

生誕150年にあたる本年、3期にわたって横河コレクションの中国陶磁を特集展示します。新しい東洋館で、横河博士が心血を注いで集めた貴重な作品をぜひご覧ください。(三笠景子)



① 五彩群馬文皿

中国・景德鎮窯 明時代・17世紀 横河民輔氏寄贈 (1期に展示)
天啓赤絵の名品。小さく限られた空間に、馬が遊ぶ様子がのびやかに描かれます

② 白磁鳳首瓶

中国 唐時代・7世紀 横河民輔氏寄贈 (3期に展示)
異国情緒たどよう唐時代の白磁瓶。この形は西域のガラス器に倣ったものです



◆1期:5月27日(火)~10月13日(月)

「横河コレクション」 中国青磁のすべて

同時期に開催される特集「日本人が愛した官窯青磁」(本誌5ページ参照)に関連して、三国から清時代に至る間につくられた、さまざまな地域の青磁作品を時代順に展示いたします。

「横河コレクション」

日本人が愛した万暦・天啓赤絵

日本人が愛した万暦・天啓年間の五彩の名品を展示いたします。日本人が茶器として価値を見いだし、珍重した景德鎮民窯の器です。昭和初期には鑑賞陶器としても人気を集めました。

◆2期:10月15日(水)~12月7日(日)

「横河コレクション」宋・元のやきもの

中国陶磁、その悠久の歴史のなかで、もつとも力強く活気に満ち、一方で繊細かつ華麗な表情をみせる宋・元時代のやさみの。この時代に開花したさまざまな造形・装飾技法をお楽しみください。

◆3期:2015年1月2日(金)

~3月29日(日)

「横河コレクション」『甌香譜』の世界より

昭和6年(1931)、美術評論家として知られる青山二郎(1901~1979)によって編集された横河コレクション図録『甌香譜』のなから名品を選び、すべて展示します。

東洋館
5年度

「中国の染織」

これが刺繍で書かれているの?!

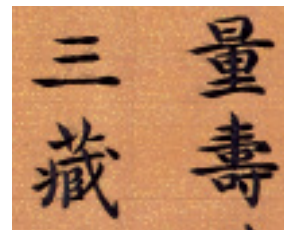
織繡 珍品選

6月10日(火)~9月7日(日)



仏説無量寿仏経刺繍

中国 清時代・18~19世紀
絹の黒糸で刺繍された経文…! 実物を見なければわかりません



(部分)

元時代から清時代にかけて製作された中国染織の大きな特徴の一つは、書画をあえて織物や刺繍で表現することです。今回は、これまで当館ではあまり展示されることなかった「染織絵画」というべき珍品の数々を展示します。「寿老図」

「唐子図」あるいは刺繍で経文を表わした折帖など、染織で表現することの意義を考えながらご覧ください。6月24日から開催される特別展「台北 國立故宮博物院―神品至宝―」(本誌4ページ参照)で展示される同様の作品とあわせてお楽しみいただければ幸いです。(小山弓弦葉)

東洋館
13年度

「アジアの民族文化」

美しいのは、影だけではない

インドネシアのワヤン

7月8日(火)~9月28日(日)

インドネシアの影絵芝居「ワヤン・クリ」では、水牛の革で作った人形を、ダランと呼ばれる人形遣いが夜どおし操演します。

今年の展示では、古代インドの叙事詩「マハーバータ」と「ラーマヤナ」の双方から、代表的なキャラクターを紹介いたします。特に「ラーマヤナ」の人形は当館に4体しかなく、4年ぶりの公開です。

「ラーマヤナ」の主人公ロモウィジョヨは、妻のシントをドソムコにさらわれてしまいます。ロモウィジョヨらとドソムコらとの戦いの始まりです。(白井克也)



ワヤン・クリ

ロモウィジョヨ

インドネシア 中部ジャワ
20世紀 横山平四郎氏寄贈

「ラーマヤナ」の主人公。
100年以上前に作られた、
日本国内では貴重な作品

法隆寺宝物館

宝物に浸る

平成館

特集で遊ぶ

●平成館 企画展示室

江戸時代の一大プロジェクト

特集

「伊能忠敬の日本図」

6月24日(火)～8月17日(日)

小学校の教科書に必ず載っている、伊能忠敬の名前は皆さんご存知かと思えます。でも伊能忠敬が作った日本地図の実際を知らなかった方は少ないのではないのでしょうか。実はトーハクには伊能忠敬の地図があるのです。なかなか展示の機会がありませんが、久しぶりにまとめて披露できることとなりました。夏休みにはご家族皆さまで、その大きさと美しさを実感してください。

また、6月4日(水)からは、TNM&TOPPANミュージアムシアターで伊能図

の魅力がより楽しめる新コンテンツ「伊能忠敬の日本図」を上演します(本誌14ページ参照)。夏休み期間中は小中学生は無料です!こちらもお合わせてお楽しみください。

(田良島哲)



●九州沿海地図 第10

伊能忠敬作
江戸時代・19世紀
縮尺36000分の1の「大図」。忠敬たちの足跡をつぶさにたどれます

●法隆寺宝物館 第5室

エキゾチック! でも実は日本製?

国宝 竜首水瓶

通年 ※10月15日(水)～12月7日(日)は

「日本国宝展」で展示予定

銅铸造で成形し、表面に鍍金・鍍銀した、50cmちかい大型の水瓶。しもぶくれの胴から長い首が立ち上がり、その先を竜の頭の形に作っています。竜の口はあごの部分で留められており、開閉ができるようになっています。竜の後頭部と胴には、細長い弦状の把手を渡し、胴部には、有翼の天馬を線刻しています。

このように鳥獣形の首と把手をもった器

は西域に起源があり、竜や天馬なども異国情緒を漂わせますが、近年の研究で日本製の可能性が高いとされています。胴部の墨書から、法隆寺内にあったと思われる北堂の仏像にささげられたと考えられます。

(伊藤信二)

●竜首水瓶

飛鳥時代・7世紀
教科書でもお馴染み、法隆寺献納宝物の金工品を代表する作品



1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報

23

新生17室の注目展示「収納棚」

リニューアル工事を終え、4月15日より本館17室「保存と修理」が装いを新たに公開されています。特に注目していただきたいのが、展示室壁沿いに置かれた白い棚です。これは実際に収蔵庫の中で作品を収納するために使っている棚を、できる限り忠実に再現したものです。一見すると特殊な棚には見えませんが、実は、作品を長期間安全に保管するためにたくさんの工夫が施されています。展示室でじっくりご覧いただくと、例えば地震の被害を予防する工夫を幾つか見つけられると思います。倒壊防止のため収納棚を

床に固定する、作品の落下防止のために金網戸を付ける、といった対策を解説パネルとともにご覧下さい。

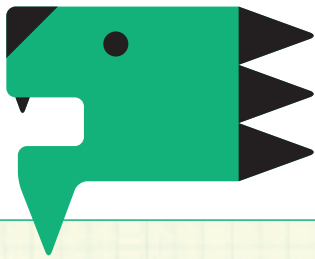
実際の収蔵庫はこうした収納棚が幾つか繋がって列をなす、その列が何十と並んでいる広い空間です。17室の収納棚の前に立って収蔵庫を想像し、収納棚が作品の保存を支える大事な役割を担うことをぜひ体感してみてください。

(和田浩)



A) 本館17室の「収納棚」
B) 棚の下には清掃用の空間を設けています
C) 資料の落下を防ぐ金網戸





みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

PART 1

知る楽しみ、学ぶ喜び 講座・講演会・解説

講演会

月例講演会「^{たかおまんだら}高雄曼荼羅—金銀で描かれた密教の世界—」

日時:6月7日(土) 13:30 ~ 15:00
講師:沖松健次郎(保存修復室主任研究員)・安藤香織(徳川美術館学芸員)
日本密教の祖・空海が制作を指揮した現存最古の巨大な曼荼羅。その魅力に迫ります。

月例講演会「^{いのうただか}伊能忠敬の日本図」

日時:7月19日(土) 13:30 ~ 15:00
講師:田良島哲(調査研究課長)
伊能忠敬の名前は有名ですが、彼の地図を見る機会はなかなかありません。忠敬の日本図の特色とその美しさについてお話します。
*関連展示:本誌11ページ

※会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)。
※開場は開始の30分前(予定より早める場合もございます)。

ギャラリートーク

考古展示が語る日本の歴史時代

日時:6月10日(火) 14:00 ~ 14:30
平成館考古展示室
講師:田島大良(登録室アシリエイトフェロー)
歴史時代の考古資料を通して、「日本史上のできごと」を読み取ります。

人の頭を2つもつ鳥の話

日時:6月17日(火) 14:00 ~ 14:30
東洋館シアター
講師:勝木言一郎(出版企画室長)
トーハクには、共命鳥(ぐみょうちょう)という人の頭を2つもつ鳥の像があります。西域で収集されたこの不思議な鳥について解説します。
*関連展示:本誌前号10ページ



共命鳥 5世紀
中国・ヨートカン
大谷探検隊将来自品

海外に渡った縄文土器

日時:6月24日(火) 14:00 ~ 14:30
東洋館シアター
講師:鈴木希帆(登録室アシリエイトフェロー)
海を渡って海外の美術館や博物館に収蔵された縄文土器と、当館所蔵の縄文土器の関係についてお話します。

トーハクの石榴

日時:7月1日(火) 14:00 ~ 14:30
東洋館シアター
講師:川村佳男(平常展調整室主任研究員)
台北故宮に白菜あれば、トーハクに石榴あり。特別展「台北 国立故宮博物院—神品至宝—」での「翠玉白菜」の公開に関連して、東洋館9室で展示する「瑪瑙石榴」の魅力を紹介します。
*関連展示:本誌5ページ

ザクロだけに
きになるん
だほ!



鎌倉彫刻の魅力

日時:7月8日(火) 14:00 ~ 14:30
本館11室
講師:西木政統(絵画・彫刻室アシリエイトフェロー)
鎌倉時代の彫刻の持つ魅力とは。「リアル」に注目しつつ、その造形表現や制作技法の特色についてお話します。 *関連展示:本誌3ページ

インドネシアのワヤン

日時:7月15日(火) 14:00 ~ 14:30 東洋館13室
講師:白井克也(考古室長)
インドネシアの影絵人形(ワヤン)に表わされた「マハーバーラタ」や「ラーマヤナ」の登場人物を紹介します。 *関連展示:本誌10ページ

田園詩人、^{くすみもりかげ}久隅守景の納涼図

日時:7月25日(金) 18:30 ~ 19:00
本館2室(国宝室)
講師:山下善也(絵画・彫刻室主任研究員)
はじめ狩野探幽の高弟で、農村を描く絵画に個性を開花させた久隅守景。代表作「納涼図」から湧きあがる「癒しの世界」を味わいます。
*関連展示:本誌7ページ



●納涼図屏風

久隅守景筆 江戸時代・17世紀

経塚というタイムカプセル

日時:7月29日(火) 14:00 ~ 14:30
平成館考古展示室
講師:井出浩正(考古室研究員)
末法の世に備え、平安時代から江戸時代にかけて造られた経塚。経塚から出土した品々を中心にをご紹介します。



ほくも
タイムカプセルで
ひと眠りするほー。

もー。
トーハクくんは
寝てばかり!

事前申込制 [往復はがき]

連続講座「国宝」

「日本国宝展」(本誌6ページ参照)をより楽しんでいただくための講座です。当館研究員と館外の講師が日本国宝展出品品を中心に、国宝にまつわる話をします。

8月8日(金) 13:00 ~ 16:15

「日本国宝展と工芸の国宝」伊藤信二(当館広報室長)

「絵画の国宝1号—トーハクと国宝の絵画—

沖松健次郎(当館保存修復課主任研究員)

8月9日(土) 13:00 ~ 16:15

「七不思議! 国宝元興寺五重小塔」

高橋平明(公益財団法人元興寺文化財研究所研究員)

「指定制度と仏像・神像の国宝」川瀬由照(文化庁文化財部美術学芸課)

「国宝彫刻の修理」藤本青一(美術院国宝修理所所長)

8月10日(日) 13:00 ~ 16:15

「発掘の成果と国宝」品川欣也(当館考古室研究員)

「美と歴史を語る国宝の書」田良島哲(当館調査研究課長)

会場:平成館大講堂 定員:380名(事前申込制、応募多数の場合抽選)

聴講料:無料(ただし、初日の入館料は必要。2日目以降は初日の受付時にお渡りする受講券で入館いただけます。なお、受講券で特別展には入場できません。)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に①参加者(2名まで)の氏名・ふりがな、②代表者の郵便番号・住所・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

*1枚の往復はがきが最大2名の申込可。

申込先:〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 教育講座室「連続講座」係 申込締切:7月1日(火)必着

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

「突起装飾环ができるまで—作ってみてわかったこと—」

本館19室で展示している突起装飾环の制作工程模型についてのギャラリートークです。作ってみて初めてわかった造形的な特徴や技術的な問題について、制作したインターンがご説明します。

日時:6月29日(日)、7月9日(水)・26日(土)、8月6日(水)・24日(日)・27日(水)(スライドトーク)、9月10日(水)・13日(土)・14日(日)、10月19日(日)・25日(土) いずれも15:30 ~ 15:50

会場:本館19室 みどりのライオン 体験コーナー(教育普及スペース)

集合:本館1階エントランス

解説者:平成25年度東京藝術大学大学院インターンシップ 調査研究班
6月29日(日) 近岡令(美術研究科ガラス造形研究室)・岡田麻里恵(同漆芸研究室)

7月9日(水) 治部亜美香(同ガラス造形研究室)・日暮花里(同漆芸研究室)

7月26日(土) 治部亜美香・岡田麻里恵

五感を使った美術体験 ワークショップ

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

おとなのためのワークショップ

「季節のもようのお皿づくり」

日本人は四季を楽しみ、季節の草花や行事などをデザインしてさまざまなものを造形してきました。季節感を大切にきてきたともいえるでしょう。当日に展示されている作品に表された季節のモチーフをヒントに、お皿をデザインしてみませんか？

日時：①7月4日(金) 17:30~19:30

②7月5日(土) 10:00~12:00

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：①②ともに一般(高校生以上)

定員：①②ともに20名(応募者多数の場合抽選)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要、後日作品受取にかかる費用はご負担いただきます。)



七夕の短冊を書く美人
鈴木春信筆 江戸時代・18世紀
本館10室 6月17日(火)~7月13日(日)まで展示
たとえばこんな作品からデザインしてみましょう

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームもしくは往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・年齢、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、(4)参加希望日を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を記入の上、下記申込先へお送りください。

*1回の入力あるいは1枚のはがきで、

①②のどちらか一方のみ申込可。2名まで。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育普及室

「お皿ワークショップ」係
締切：①②ともに6月12日(木) 必着

*制作には絵付け用のサインペンを使用します。作品は後日、焼成後にお渡しします。ご来館のうえのお渡し、もしくは着払いでの発送のどちらかをワークショップ当日お選びいただけます。



本館には季節にちなんだ作品がいっぱい!



初夏から夏にかけてのモチーフをデザインしたお皿です

正門プラザ内に託児室・授乳室が完成!

4月15日オープンの正門プラザ内に託児室ができました。経験豊富なスタッフが責任を持ってお子様をお預かりします。併設の授乳室は開館時間中いつでも利用可能。ご利用の際は正門プラザ内インフォメーションまでお声がけください。

東京国立博物館託児サービス

場所：正門プラザ内託児室 対象年齢：3ヶ月以上~未就学児

実施日：原則毎月第1、第3土曜日、第2、第4水曜日(都合により実施日程は変更となる場合があります。)

託児時間：事前予約制 12:30~15:30(受付は12:30~)

利用料金：0歳児(3ヶ月以上)~1歳児…2,000円 2歳児以上…1,000円

お問合せ先：株式会社マザーズ TEL:0120-788-222

(受付時間 平日10:00~17:00 ただし12:00~13:00を除く)



写真はイメージです

ふふふ。
ボクは5歳だから
利用可能なんだほ!



パパもママも
ゆっくり展覧会が
見られるわね

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

子どもたちのアートスタジオ・アートスタジオ

「根付作り」

本館10室と高円宮コレクションの根付を見学した後に、焼くとかたまる樹脂でできた粘土で根付を制作します。完成品はお持ち帰りいただけます。

日時：①8月3日(日) ②9月7日(日) いずれも13:30~15:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：①小学校3年生~中学生(保護者の方の見学も可能です)

②一般(高校生以上)

定員：20名程度(応募者多数の場合には抽選)

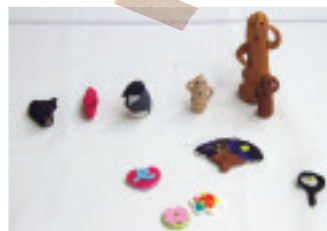
参加費：無料(ただし、一般および保護者の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームもしくは往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがなと①の場合は学年・②の場合は年齢、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、(4)①で保護者同伴の場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

*1回の入力あるいは1枚のはがきで、2名まで申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ボランティア室 ①「8月3日根付作り」、または②「9月7日根付作り」係

申込締切：①7月7日(月) 必着 ②8月4日(月) 必着



根付の見本 カラーフルな作品ができます

*「東洋館シアター」とは、TNM&TOPPANミュージアムシアターのことで。

*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代表)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的でのみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。



TNM & TOPPANミュージアムシアター

[6月~7月上演作品]

◇ ~ 7月13日(日) 『キトラ古墳』

◇ 6月4日(水) ~ 9月28日(日) 『伊能忠敬の日本図』

◇ 7月16日(水) ~ 12月7日(日) 『土偶』

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

*夏休みキャンペーン期間中は小中学生の鑑賞料金は無料。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

*総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円

*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

*詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL http://www.toppan-vr.jp/mt/

東京国立博物館 初夏のコンサート

~ 2本のチェロ~

日時:6月22日(日) 開場14:00 開演14:30

会場:平成館ラウンジ

出演:堀了介(チェロ)、堀沙也香(チェロ)、百武恵子(ピアノ)、鷺見恵理子(ヴァイオリン)

曲目:歌の翼 作曲:メンデルスゾーン / 編曲:名田綾子

アヴェ・マリア 作曲:カッチーニ / 編曲:名田綾子 ほか

料金:5,000円 友の会・賛助会割引 4,500円 全席自由

*当日は、コンサートチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。

主催:東京国立博物館 サロン・ド・ソネット

<チケットのお求め方法>

○当館正門チケット売場でのチケット販売

受付時間:開館日の9:30~閉館の30分前まで

○電話予約販売

申込先:東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL:03-3821-9270

受付時間:月曜日~金曜日 9:30~17:00(土日・祝休日は除く)

引換方法:公演当日、9:30~当館正門チケット売場にて現金引換え

東京国立博物館 ファミリーコンサート

~クラリネットだけの珍しい編成でお届けする名曲の数々~

日時:6月8日(日)

①開場12:30 開演13:00 ②開場14:30 開演15:00

会場:平成館ラウンジ

出演:(演奏)東京クラリネット・クワイアー(指揮)稲垣征夫

曲目:歌劇「ザンパ」序曲 作曲:L.J.F.エロール/編曲:稲垣征夫

ワルツ「春の声」 作曲:J.シュトラウスII/編曲:磯崎敦博 ほか

料金:無料(ただし当日の入館料は必要)*事前予約不要 先着200名

主催:東京国立博物館 東京クラリネット・クワイアー

協賛:上野のれん会 東京国立博物館ミュージアムショップ

*各イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。

*お車でのご来館はご遠慮ください。

臨時休館

6月3日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館します。

法隆寺宝物館を一時休館します

法隆寺宝物館は展示環境整備のため、6月2日(月)~6月30日(月)の間、休館します。また、法隆寺宝物館1階のホテルオークラ ガーデンテラスも同期間、お休みします。



特別展「台北 国立故宮博物院一神品至宝」チケットプレゼント

本誌5ページでご紹介した特別展「台北 国立故宮博物院一神品至宝」(6月24日(火)~9月15日(月・祝))のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は7月28日(月)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館

広報室「ニュース6・7月号」プレゼント係



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究、総合文化展の充実、施設整備等にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

<団体> プレミアム会員 1000万円以上/特別会員 100万円(1口)/維持会員 20万円

<個人> プレミアム会員 100万円以上/特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
●東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当 TEL:03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2014年4月23日現在

特別会員

日本電設工業株式会社様
株式会社 コア様
大日本印刷株式会社様
毎日新聞社様
株式会社 大林組様
朝日新聞社様
株式会社 ミロク情報サービス様
読売新聞社様
三菱商事株式会社様
凸版印刷株式会社様

ブルガリジャパン株式会社様
公益財団法人 東芝国際交流財団様
日本写真印刷株式会社様
日本ロックス株式会社様
サロ・ド・ソネット様
シティバンク銀行株式会社様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ様
株式会社 東芝様
株式会社 みずほ銀行様
一般財団法人 東京国立博物館協会様

維持会員団体

TBS様
株式会社 精養軒様
株式会社 三冷社様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ様
株式会社 東京美術様
株式会社 鶴屋吉信様
日本通運株式会社様
株式会社 安井建築設計事務所様
株式会社 ナガホリ様
松本建設株式会社様
株式会社 古美術数本様

謙慎書道会様
近代書道研究所様
日本畜産興業株式会社様
株式会社 東京書芸館様
インフコム株式会社様
学校法人 大勝院学園様
株式会社 システム設計様
株式会社 インターネットインシアティブ様
株式会社 小西美術工藝社様
公和図書株式会社様
株式会社 キャラリー竹柳堂様

株式会社 育伸社様
株式会社 モリサワ様
アミ開発有限会社様
光村図書出版株式会社様
株式会社 アウトヒューマンリード様
キューン製菓ホールディングス株式会社様
株式会社 資生堂様
株式会社 インターパルハーン・ジャパン様
株式会社 デュナミス様
キッコーマン株式会社様
公益社団法人 創玄書道会様

朝陽書道会様
一般社団法人 書芸文化院様
株式会社 都市環境企画様
全日本空輸株式会社様
楽天銀行株式会社様
株式会社 ケンレリアント様
株式会社 清光社様
有限会社 アトリエエビス様

維持会員個人

木村 則子様 池田 孝一様 山田 泰子様 野澤 智子様 坂詰 貴司様 原 一之様
高木 聖鶴様 木村 剛あすか様 野口 知子様 坂田 池谷正夫様 吉田 靖様 会田 健一様
早乙女 節子様 観世 あすか様 岡田 隆子様 藤村 栄一様 松本 喜弘様 桐畑 義孝様
伊藤 信彦様 伊藤 信彦様 藤村 栄一様 藤村 栄一様 藤村 栄一様 藤村 栄一様
井上 麗子様 井上 麗子様 井上 麗子様 井上 麗子様 井上 麗子様 井上 麗子様
篠内 匡人様 篠内 匡人様 篠内 匡人様 篠内 匡人様 篠内 匡人様 篠内 匡人様
服部 悦子様 服部 悦子様 服部 悦子様 服部 悦子様 服部 悦子様 服部 悦子様
若川 重美子様 若川 重美子様 若川 重美子様 若川 重美子様 若川 重美子様 若川 重美子様
高田 朝子様 高田 朝子様 高田 朝子様 高田 朝子様 高田 朝子様 高田 朝子様
齋藤 京子様 齋藤 京子様 齋藤 京子様 齋藤 京子様 齋藤 京子様 齋藤 京子様
齋藤 邦裕様 齋藤 邦裕様 齋藤 邦裕様 齋藤 邦裕様 齋藤 邦裕様 齋藤 邦裕様
和木 高瀬様 和木 高瀬様 和木 高瀬様 和木 高瀬様 和木 高瀬様 和木 高瀬様
佐々木 芳絵様 佐々木 芳絵様 佐々木 芳絵様 佐々木 芳絵様 佐々木 芳絵様 佐々木 芳絵様
藤原 正樹様 藤原 正樹様 藤原 正樹様 藤原 正樹様 藤原 正樹様 藤原 正樹様
中川 俊光様 中川 俊光様 中川 俊光様 中川 俊光様 中川 俊光様 中川 俊光様
関谷 徳衛様 関谷 徳衛様 関谷 徳衛様 関谷 徳衛様 関谷 徳衛様 関谷 徳衛様
高橋 守様 高橋 守様 高橋 守様 高橋 守様 高橋 守様 高橋 守様
小澤 桂一様 小澤 桂一様 小澤 桂一様 小澤 桂一様 小澤 桂一様 小澤 桂一様
上久保 のり子様 上久保 のり子様 上久保 のり子様 上久保 のり子様 上久保 のり子様 上久保 のり子様
榎田 良豊様 榎田 良豊様 榎田 良豊様 榎田 良豊様 榎田 良豊様 榎田 良豊様
長谷川 英樹様 長谷川 英樹様 長谷川 英樹様 長谷川 英樹様 長谷川 英樹様 長谷川 英樹様

「井浦新の美術探検 東京国立博物館の巻」発売

俳優・井浦新さんがナビゲーターをつとめる「井浦新の美術探検 東京国立博物館の巻」(定価1,944円(税込))が東京美術から出版されます。「考古 日本の美のはじまりを知る」「絵画 驚異の日本絵画」「東洋 博物館でエキゾチック・トリップ」「技 保存・修復に宿る 日本の技」など、井浦新さんの切り口で東京国立博物館の魅力に迫ります。お求めはミュージアムショップまたはお近くの書店まで。



「博物館に初もうで」広告ビジュアルが毎日広告デザイン賞準部門賞を受賞

2014年1月の「博物館に初もうで」の新聞広告「めでたい」が、毎日広告デザイン賞の流通・サービス部門で準部門賞を受賞しました。3年連続の受賞となります。メインビジュアルは2尾の鯛。贈り物にかけられる大きな袱紗に描かれた吉祥模様です。さらに、北斎の宝船の絵を添えて、めでたい初夢もプレゼントしました。デザイン制作に携わった方々、また、初もうでにご来館いただいたお客様に、改めて感謝を申し上げます。



受賞作品(新聞広告)
クリエイティブディレクター:岡田國孝、アートディレクター:北川潤一

資料館より「シーボルト旧蔵本」の修理及びデジタル化による公開事業

2007年度から2010年度にかけての遡及作業により、書籍館、浅草文庫伝来の貴重洋書を含む資料館所蔵の洋書約13,000冊はOPACで検索可能と

なっています(保存上の理由により一部は閲覧を制限しています)。このたび、ドイツの医師・博物学者フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの旧蔵本約300冊について、図書館振興財団からの助成金を受けて修理およびデジタル化による公開事業をスタートすることになりました。進捗状況は、ライブラリニュース等でご報告をしていきます。

『MUSEUM』649号(2014年4月15日発行)の掲載論文

- ①「沖縄縄文時代の蝶形骨製品 —その素材と形態について—
金子浩昌(当館客員研究員)」
- ②「野中寺弥勒菩薩像について —蛍光X線分析調査を踏まえて—
藤岡穰(大阪大学大学院教授)」

定価:1,543円(税込)
お問合せ:当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(電話 03-3535-1321)



国立博物館の展示案内

- 〈京都国立博物館〉
特別展「南山城の古寺巡礼」 4月22日(火)～6月15日(日)
- 〈奈良国立博物館〉
特別展「国宝醍醐寺のすべて —密教のほとけと聖教—」
7月19日(土)～9月15日(月・祝)
- 〈九州国立博物館〉
特別展「クリーブランド美術館展 一名画でたどる日本の美—」
7月8日(火)～8月31日(日)

東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 2014年3月28日(金)～12月の特別展開催期間中の金曜日、6月24日(火)～7月7日(月)は20:00まで、2014年3月29日(土)～12月7日(日)の土・日曜、祝・休日は18:00まで開館

休館日:

月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2014年12月24日～2015年1月1日)

2014年6月3日(火)は臨時休館

ただし、2014年4月28日(月)、8月11日(月)は開館。6月30日(月)、7月7日(月)、8月18日(月)、8月25日(月)は特別会場のみ開館。

総合文化展観覧料

一般=620(520)円、大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、

Twitter、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト

<http://www.tnm.jp/>

東京国立博物館ニュースの定期購読のご案内

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。

- ◎お申込みは当館窓口、ウェブサイトまたは郵便振替で(継続は1ヶ月前から申込み可)

[ウェブサイト]

申込フォームおよびクレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

[郵便振替]

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号00140-1-668060

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。1年間保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- 次号よりご送付希望の場合、締切は2014年7月10日(木)です。

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 発行日から1年間有効

年会費10,300円

※継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート 発行日から1年間有効

一般4,100円 29歳以下3,000円 学生2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック 発行日から1年間有効

一般1,500円 29歳以下1,100円 学生900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

- ◎お申込みは当館窓口、ウェブサイトまたは郵便振替で(継続は1ヶ月前から申込み可)

[ウェブサイト]

申込フォームおよびクレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

[郵便振替]

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。会員証等が届くまで保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

- 振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

パスポート、ベーシック

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号00140-1-668060

- 振替用紙に申込区分([パスポート・ベーシック][一般・29歳以下・学生])を記入し、[29歳以下]・[学生]の方は、年齢のわかる身分証明書または生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

◎お問合せ

電話03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX03-3821-9680

*各種お申込に際してご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

| | | |
|-----|--|---------------|
| 1日 | 時間延長(18:00まで) 作 13:30*1 浮 14:00 考 14:30 初夏東博寄席 13:30 平成館大講堂*2 | 法隆寺宝物館休館 |
| 2月 | 休館日 | |
| 3日 | 臨時休館日 | |
| 4日 | | |
| 5日 | | |
| 6日 | | |
| 7日 | 時間延長(18:00まで) 講 「高雄曼荼羅—金銀で描かれた密教の世界」13:30 平成館大講堂*3 樹 13:30 本 14:00 | |
| 8日 | 時間延長(18:00まで) 近 13:00 浮 14:00 ♪ファミリーコンサート 13:00、15:00 平成館ラウンジ*4 | |
| 9日 | 休館日 | |
| 10日 | G 「考古展示が語る日本の歴史時代」14:00 平成館考古展示室*3 建 11:00 | 特集「親と子のギャラリー」 |
| 11日 | | |
| 12日 | 庭 14:00 本 14:00 | |
| 13日 | 英 14:00 | |
| 14日 | 時間延長(18:00まで) 陶 14:30 | |
| 15日 | 時間延長(18:00まで) 英 11:00 東 11:00 茶 12:30 浮 14:00 考 14:30 | |
| 16日 | 休館日 | |
| 17日 | G 「人の頭を2つとも鳥の話」14:00 東洋館シアター*3 | |
| 18日 | 樹 13:30 | |
| 19日 | 彫 15:00 | |
| 20日 | | |
| 21日 | 時間延長(18:00まで) 建 11:00 本 14:00 | |
| 22日 | 時間延長(18:00まで) 彫 11:00 庭 14:00 ♪初夏のコンサート 14:30 平成館ラウンジ*5 | |
| 23日 | 休館日 | |
| 24日 | 夜間開館(20:00まで) 特別展「台北 國立故宮博物院—神品至宝—」 G 「海外に渡った縄文土器」14:00 東洋館シアター*3 | |
| 25日 | 夜間開館(20:00まで) 【故宮】ギャラリートーク「故宮の白菜」11:00、14:00、18:30 本館地下*6 | |
| 26日 | 夜間開館(20:00まで) 本 14:00 | |
| 27日 | 夜間開館(20:00まで) | |
| 28日 | 夜間開館(20:00まで) 陶 14:30 【故宮】講「故宮コレクションと「倣古」—青銅器・玉器のかたちに象徴された伝統—」13:30 平成館大講堂*8 | |
| 29日 | 夜間開館(20:00まで) 藝 15:30*3 | |
| 30日 | 特別開館(20:00まで) ※特別展会場のみ開館 | |

| | | |
|-----|--|-------------------------|
| 1日 | 夜間開館(20:00まで) G 「トーハクの石榴」14:00 東洋館シアター*3 建 11:00 | |
| 2日 | 夜間開館(20:00まで) | |
| 3日 | 夜間開館(20:00まで) | |
| 4日 | 夜間開館(20:00まで) W 「季節のもようのお皿づくり」17:30 本館地下*7 法 15:00 | |
| 5日 | 夜間開館(20:00まで) W 「季節のもようのお皿づくり」10:00 本館地下*7 樹 13:30 本 14:00 浮 14:00 【故宮】シンポジウム 1部「中国皇帝コレクションの意味—書画における復古と革新—」10:00 平成館大講堂*8 | |
| 6日 | 夜間開館(20:00まで) 作 13:30*9 浮 14:00 考 14:30 【故宮】シンポジウム 2部「中国皇帝コレクションの意味—書画における復古と革新—」10:30 平成館大講堂*8 | |
| 7日 | 特別開館(20:00まで) ※特別展会場のみ開館 | |
| 8日 | G 「鎌倉彫刻の魅力」14:00 本館 11室*3 | |
| 9日 | 藝 15:30*3 | |
| 10日 | 庭 14:00 本 14:00 | |
| 11日 | 夜間開館(20:00まで) 英 14:00 | |
| 12日 | 時間延長(18:00まで) 陶 14:30 | |
| 13日 | 時間延長(18:00まで) 近 13:00 浮 14:00 | |
| 14日 | 休館日 | |
| 15日 | G 「インドネシアのワヤン」14:00 東洋館 13室*3 | |
| 16日 | 樹 13:30 | |
| 17日 | 彫 15:00 | |
| 18日 | 夜間開館(20:00まで) | |
| 19日 | 時間延長(18:00まで) 講 「伊能忠敬の日本図」13:30 平成館大講堂*3 建 (手話通訳付) 11:00 本 14:00 法 15:00 | |
| 20日 | 時間延長(18:00まで) 英 11:00 東 11:00 茶 12:30 考 14:30 | |
| 21日 | 時間延長(18:00まで) | |
| 22日 | 休館日 | |
| 23日 | | |
| 24日 | 本 14:00 | |
| 25日 | 夜間開館(20:00まで) G 「田園詩人、久隅守景の納涼図」18:30 本館 2室(国宝室)*3 | |
| 26日 | 時間延長(18:00まで) 陶 14:30 藝 15:30*3 【故宮】講「文物がつくる社会—中国書画・故宮コレクションからアジア世界へ—」13:30 平成館大講堂*8 | |
| 27日 | 時間延長(18:00まで) 彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00 トーハク探検ツアー「仏像のみかた」10:00、14:00 本館 11・14室*10 | |
| 28日 | 休館日 | |
| 29日 | G 「経塚というタイムカプセル」14:00 平成館考古展示室*3 | |
| 30日 | | |
| 31日 | | (8/31まで) (9/15まで) ▼▼ |

【故宮】=特別展「台北 國立故宮博物院」関連事業 *1:事前申込制。申込みは締め切りました *2:有料イベント。詳細は本誌前号 14 ページ *3:詳細は本誌 12 ページ *4:詳細は本誌 14 ページ *5:有料イベント。詳細は本誌 14 ページ *6:詳細は本誌 5 ページ *7:事前申込制。詳細は本誌 13 ページ *8:事前申込制。詳細は本誌 5 ページ *9:事前申込制。詳細は本誌前号 13 ページ *10:事前申込制。詳細は本誌 3 ページ

- 講 = 月例講演会等
- G = ギャラリートーク
- W = ワークショップ
- 本 = ボランティアによる本館ハイライトツアー 集合場所: 本館 1階エントランス
- 浮 = ボランティアによる浮世絵ガイド 集合場所: 本館 1階エントランス
- 陶 = ボランティアによる陶磁ガイド 集合場所: 本館 1階エントランス
- 彫 = ボランティアによる彫刻ガイド 集合場所: 本館 1階エントランス
- 樹 = ボランティアによる樹木ツアー 集合場所: 本館 1階エントランス
- 考 = ボランティアによる考古展示室ガイド 集合場所: 平成館考古展示室入口
- 法 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド (6月は休止します) 集合場所: 法隆寺宝物館 1階エントランス

- 茶 = ボランティアによる応挙館での茶会 集合場所: 本館 1階エントランス (参加費 500 円、先着 15 名、開始 30 分前に集合場所で整理券配布)
- 庭 = ボランティアによる庭園茶室ツアー 集合場所: 本館 1階エントランス (先着 15 名、開始 30 分前に集合場所で整理券配布)
- 英 = ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ) 集合場所: 本館 1階エントランス
- 建 = ボランティアによるたてもの散歩ツアー 集合場所: 本館 1階エントランス
- 近 = ボランティアによる近代の美術ガイド 集合場所: 本館 1階エントランス
- 東 = ボランティアによる東洋館ツアー 集合場所: 東洋館 1階エントランス
- 作 = ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ・アートスタジオ 事前申込制
- 藝 = 藝大ギャラリートーク「突起装飾環ができるまで」 集合場所: 本館 1階エントランス
- ☎ = 託児サービス実施日(12:30~15:30) 事前予約制 有料 詳細は 13 ページ

※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。